

be English Logic and Expression I Clear

LESSON 1 Meeting People

単元目標		・現在形や現在進行形を正しく用いて表現することができる。 ・自分や身近な人のことについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い，自分のことを伝え，相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
------	--	---

	話すこと（やり取り）		話すこと（発表）		書くこと	
知識・技能	目標	<知識> 動詞の現在形や現在進行形の意味や働きについて理解している。（CHECK-A） <技能> 自分や身近な人について，動詞の現在形や現在進行形を用いて，伝え合う技能を身につけている。（TASK-A2）	目標	<知識> 動詞の現在形や現在進行形の意味や働きについて理解している。（CHECK-A） <技能> クラスメイトについて，動詞の現在形や現在進行形を用いて話す技能を身につけている。（TASK-A2, SHARE）	目標	<知識> 動詞の現在形や現在進行形の意味や働きについて理解している。（CHECK-A, B, C） <技能> 自分や身近な人の習慣について動詞の現在形や現在進行形を用いて，書く技能を身につけている。（TASK-A1, B, C, WRITE）
	a	自分や身近な人について，動詞の現在形や現在進行形などを適切に用いて，ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	クラスメイトについて，動詞の現在形や現在進行形の表現を適切に用いて，ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	自分や身近な人の習慣について動詞の現在形や現在進行形を用いて，ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	自分や身近な人について，動詞の現在形や現在進行形などを用いて，コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	クラスメイトについて，動詞の現在形や現在進行形の表現を用いて，コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b	自分や身近な人の習慣について動詞の現在形や現在進行形を用いて，コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	自分や身近な人について，動詞の現在形や現在進行形を用いて，英語で伝え合うことが十分できない。	c	クラスメイトについて，動詞の現在形や現在進行形の表現を用いて，英語で話すことが十分できない。	c	自分や身近な人の習慣について動詞の現在形や現在進行形を用いて，書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	自分や身近な人について，筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。（TASK-A2）	目標	クラスメイトについての情報を，筋道を立てて詳しく話すことができる。（TASK-A2, SHARE）	目標	自分や身近な人の習慣についての情報を，筋道を立てて詳しく書くことができる。（TASK-B, WRITE）
	a	自分や身近な人について，筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a	クラスメイトについての情報を，筋道を立てて詳しく話すことができる。	a	自分や身近な人の習慣についての情報を，筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	自分や身近な人について，伝え合うことができる。	b	クラスメイトについての情報を，話すことができる。	b	自分や身近な人の習慣についての情報を，ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	自分や身近な人について，伝え合うことが十分できない。	c	自分や身近な人についての情報を，話すことが十分できない。	c	自分や身近な人の習慣についての情報を，書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	自分や身近な人について，筋道を立てて伝え合おうとしている。また，自分の発話を振り返り，改善点を見出している。（TASK-A2）	目標	クラスメイトについての情報を，筋道を立てて詳しく話そうとしている。また，自分の発話を振り返り，改善点を見出している。（TASK-A2, SHARE）	目標	自分や身近な人の習慣についての情報を，筋道を立てて詳しく書こうとしている。また，自分の書いたものを振り返り，改善点を見出している。（TASK-C, WRITE）
	a	自分や身近な人について，自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また，自分の発話を振り返り，改善点を見出している	a	クラスメイトについての情報を，自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また，自分の発話を振り返り，改善点を見出している。	a	自分や身近な人の習慣についての情報を，自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また，自分の書いたものを振り返り，改善点を見出している。
	b	自分や身近な人について，伝え合う姿勢がみられる。	b	クラスメイトについての情報を，話そうとする姿勢がみられる。	b	自分や身近な人の習慣についての情報を，書こうとする態度がみられる。
	c	自分や身近な人について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c	クラスメイトについての情報を，何とか話そうとする姿勢がみられない。	c	自分や身近な人の習慣についての情報を，何とか書こうとする態度がみられない。

※3領域について，3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが，授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目のみお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して，特に評価すべきと思われる主な活動を，目標の欄に（TASK-A）（SHARE）（WRITE）のような形で表しています。参考にお使いください。